

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
<p>① 三次市総合計画にある人口減対策, 10年後の三次の姿, そして他市と比べての優位性について具体的に教えていただきたい。</p>	<p>本市の優位性は, 交通の結節点であることです。その優位性を生かした中で拠点性を維持向上させていくまちづくりをめざします。10年後を踏まえて, 人口減少を緩和させるという取り組みを今後も続け, 真正面から挑戦をする中で, 市民の幸せを実現するための取り組みを今後進めます。三次市総合計画の中に掲げているめざすまちの姿「しあわせを実感しながら, 住み続けたいまち～中山間地の未来を拓く拠点都市・三次～」を実現していくために, 今後10年, この総合計画のソフト事業を中心に皆さんの参加と行動によって, 市民の力, そしてまちづくりの力が最大限発揮できるように, 郷土のまちづくりに取り組みたいと思います。</p>
<p>② 三次市総合計画の中に「女性が働きやすく子育てができる環境日本一」をめざすとある。女性が働きやすい環境というのは具体的にどういうことを示しているのかを教えていただきたい。</p>	<p>仕事と家庭両立のための支援として, 保育サービスの充実や相談体制等, 現在, プロジェクトチームをつくって, 具体的にどんなことができるかについて対応策を考えています。また, 女性の働きやすい企業ということで, 企業の皆さんにも応援していただいて, 女性が働きやすい職場づくりを市としてもお願いをしていくなど, 支援の方法も含めて検討していきたいと思います。</p>
<p>③ グローバル化に伴う世界に通用する人材を育てることについての対策を教えていただきたい。</p>	<p>ふるさと三次を愛し誇りに思うこと。夢を持ち, 学び, 考える力を持つこと。そして, 社会の一員として積極的に貢献する志を持った教育, そういう子ども像をめざして教育をしていきたいと考えます。具体的には, コアカリキュラムとオリジナルカリキュラムを考えて, 全市で取り組んでいきます。郷土を愛し, そして世界で通用するような子どもに育ててもらいたいということで, 小中一貫教育と高校の3校が提携し, 三次を支えてくれる, リードしてくれる子どもたちを一生懸命育てたいと考えています。</p>
<p>④ 三次市総合計画の中にある英語教育を日本一にするというのは, どういうことを考えているのか。また, 語学教育の支援</p>	<p>国際理解教育を行いたいと考えています。特に小中9年間の学習の中で, 様々な国際理解教育の活動を行うことを考えています。アメリカス市やカナダとの交</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
は、どのような施策を考えているのかを教えてください。	流という財産を、国際的に通用する子どもたちを育てるための一つの教材として、あるいは大切な宝物として活用できればと考えています。今年は、イングリッシュキャンプなども企画しています。
⑤ 情報通信技術は、10年後には相当変わってくるのではないかと思われる。情報ネットワークの活用を考えるうえで、専門部署が必要であると思う。その専門の部署が今あるのか、あるいはこれからつくられるのかを伺いたい。	本市は中山間地にありながら、市内全域をカバーできるケーブルテレビ事業で整備したインターネット環境があり、これがまちづくりや定住対策を進めるうえでも大きな強みと感じています。このインフラを大切に、市民が安心して活用できるよう取り組みます。また、今後の活用については、株式会社三次ケーブルビジョンと検討していきます。
⑥ 今年度をスタートとした三次市総合計画は、平成26年度はもう既に半年終わっている。PDCAのPの部分だと思いが、しっかり具体的な計画を立案してもらいたい。また、常に施策を考える場合に、ほかの市町村から見てどうだろうか、優位性があるかどうか、必ずこの視点は忘れないように立案していただきたい。	<p>貴重なご提言をありがとうございました。</p> <p>本市は、全国的な調査機関の調査結果(※)で住みよさは3番以内、年によっては1番という高い評価をいただいています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>※(株)東洋経済新報社 「住みよさランキング2013」広島県内1位 「住みよさランキング2014」広島県内3位</p> </div> <p>さらに、日本一をめざしているものとして、子育て環境と健康があります。拠点性を生かし、一つひとつ充実したまちづくりを進めていきたいと思えます。</p>
⑦ 昨年も申し上げましたが、高齢化率43%を超える甲奴町の健康づくりの拠点として、せっかくある温泉を活用したウォーキングプールを整備していただきたい。	温泉を生かした健康づくりの施設整備については、早期の実現に向けて、今年度は調査費をつけて取り組んでいます。皆さんにお願いしたいのは、施設をつくっていくための体制づくりと、将来にわたって利活用するという皆さんの強い思いです。一緒に努力しましょう。
⑧ いこいの森弘法山は、多くの集客がある。しかし、屋外トイ	尾道松江線全線開通を見据え、甲奴町として弘法山一帯をどう活用していくの

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画 4 つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成 26 年 7 月 16 日 (水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
<p>レがないことや、宿泊施設も簡易の水洗トイレであり、仮設トイレで対応している状況がある。甲奴インターが供用開始されると観光客も増える。浄化槽で対応できるトイレの改修をお願いしたい。</p>	<p>かの議論も踏まえて、宿泊施設のトイレ改修等について指定管理者、甲奴支所と連携して検討していきたいと思えます。</p>
<p>⑨ 道路網の整備について、県道の甲山甲奴上市線と吉舎油木線や梶田三良坂線の早期改良をお願いしたい。また、太郎丸吉舎線、宇賀矢野線、宇賀安田線など未改良区間がたくさん残っている。早期改良をお願いしたい。</p>	<p>主要地方道甲山甲奴上市線と同じく吉舎油木線の橋梁区間の早期整備については、広島県が昨年度測量調査を実施、今年度は詳細な設計を実施されます。また、J R 西側鉄橋、桁下 3.8m と表示されていますが、J R の鉄橋を保護するものの高さが実際の橋梁より低いため、橋桁等の高さを若干上げていただくように、広島県から J R と協議を進めていただいています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>平成 26 年 10 月 15 日に広島県北部建設事務所に要望し、次のとおり回答がありました。</p> <p>今年度は、昨年度に行った西野交差点から大橋を含めた区間の予備設計を精査した上で、この区間の実施設計と大橋の予備設計を行っています。</p> <p>年度末には設計内容について地元説明を開催する予定です。</p> <p>J R 小童川橋梁下のクリアランスについては、桁下高と制限高との差（余裕高）の緩和について、J R と協議を開始する予定です。</p> </div> <p>梶田三良坂線は、大掛谷地区で河川の付け替え工事を引き続き行います。今年度は延長約 140m の河川の工事を予定しています。今年度の河川工事で河川部分の付け替え工事は終了します。そして、来年度から道路の拡幅に着手する予定です。</p> <p>県道太郎丸吉舎線は、地元の皆さんと協議をし、施工してきた待機所の設置については、平成 24 年度で完了しています。しかし、待避所間の距離が長い可能性があり、待避所が必要と考えられる場所があれば地元の皆さんと市とで協議を行</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回答
	<p>いますので、土地所有者の方の了解などについてもご協力をいただきたいと思います。</p> <p>県道宇賀矢野線は、小童地区から府中市矢野方面への未改良区間について、延長約900mは道路幅員が3m以下と狭くて急勾配の箇所もあります。昨年度、待避所として、広島県で施工していただきましたが、車両の離合が困難な状況で、早期整備に向けて引き続き広島県に強く要望します。</p> <div data-bbox="1048 762 2065 1023" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、次のとおり回答がありました。</p><p>急峻な地形であり、全面的な改良には相当の事業費と期間を要することから、現在の財政状況では難しいと考えています。</p><p>このため、待避所を2箇所整備して最小限の対応を図ることとしており、今年度既に用地取得を完了し、来年度から工事着手する予定です。</p></div> <p>県道宇賀安田線は、品地区において広島県が現在整備中の延長約300mの区間について舗装工事を行い、今年度完成予定です。今回の改良工事をもって品地区の工事が一区切りとなると広島県から聞いていますが、世羅町境までの未改良区間約1.2kmについて、道路幅員が3m以下と狭くて、車両の離合が困難な状況です。未改良区間の早期整備について、引き続き広島県に強く要望します。</p> <div data-bbox="1048 1241 2065 1410" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、次のとおり回答がありました。</p><p>品地区道路改良工事は8月に完了し、バイパス区間の供用を開始しました。</p></div>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
	<p>世羅町境までの残区間 800mについては、急峻な地形であり、全面的な改良には相当の事業費と期間を要することから、現在の財政状況では難しいと考えています。</p> <p>このため、待避所の設置による最小限の対応について、世羅町を管轄する三原支所と協議を行います。</p>
<p>⑩ 平成24年度のがんばる地域・産業施設整備支援事業に応募したが、その提案内容についてしっかりと状況を把握して、十分な審査が行われたのか。丁寧な説明と真摯な検討をお願いしたい。</p>	<p>がんばる地域・産業施設整備支援事業については、申請者の思いとの間に少しミスマッチがあったのではないかと思います。行政としてもいかに制度を活用してもらうかを十分協議し、変えるべきものは変えていく、守るべきものは守っていくよう対応していきたいと思っています。</p>
<p>⑪ 尾道松江線全線開通に向けて、イベントを検討し、なんとか甲奴に降りてもらいたい。提案として、甲奴インターから宇賀交流センターの間にパフォーマンス書道の大作を表示したらいいのでは。住民自治組織と一緒に協力しながらやっていけばと考えるが、行政の協力がいると思っている。</p>	<p>書道パフォーマンスは、ぜひ継続していただきたい。尾道松江線全線開通においては、甲奴町の特色を生かし、甲奴町に行ってみようという状況をつくっていききたいし、支援をしていきたい。</p>
<p>⑫ 日彰館高校が創立120年を迎えた。今年は野球部も24年振りに2勝している。市長は「挑戦」というテーマを掲げているが、積極的に向き合っていてほしい。</p>	<p>広島県教育委員会は2学級とれない学校の統廃合の基本方針をもっており、日彰館高校も安閑としていられません。行政として中高一貫校の誘致もめざしていく中で、今ある日彰館高校・三次高校・青陵高校をどう守っていくか。皆さん、学校と一緒に頑張っていきましょう。</p>
<p>⑬ 高谷山に友人を案内したが汚い。市の農業委員会が中心となって、市職員、市議会議員と一緒に草刈りをする提案をしようと思っている。</p>	<p>高谷山については展望台やトイレ、駐車場等ここ数年整備してきました。道路は、待避所等も検討しています。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
⑭ 市外局番からではなく、局番から市内通話ができるようにはできないか。	同じ市内でありながら市外局番を使わなければいけないということについて、市外局番がどのように決まっているのか、どこが責任を持ってそういうことをするのかということも確認をしながら要望していきたいと思います。
⑮ 予算化された事業費をもとに算出される新市まちづくり計画の進捗率は、南部のほうは非常に遅れが目立っている。新市まちづくり計画でめざすはずの地域の均衡ある発展について、どこに整合性を求めればいいのか。	各地域審議会において、未着手事業について協議、審議をいただいたところです。その中で、意見具申をしていただいた70事業、甲奴では16事業について、今後、事業を決定するというにしています。事業の決定は、事業の必要性、地域バランス等、さらなる精査が必要ということで、現在、庁内に事業検討委員会を設置しています。また、市長、副市長が現場をすべて見えています。現場を見ながら、財政状況も考慮しながら、事業を制御していきたいと考えています。財源については、合併特例債を有効活用し取り組んでいますのでご理解をお願いします。(合併特例債の有効期限の5年間延長)
⑯ 来年4月からの「地域医療・介護総合推進法」の施行に伴い、特養老人ホームに入所できなくなる要介護1、2の人は、三次市にどのくらいいるのか。一人暮らしの人への対応をどうやっていこうと考えているのか。	平成27年4月以降、新たに特養入所するのに要介護の1、2とか、程度が軽い人について、入れないのではないかという思いの中で、要介護2であってもどうしても特養に入所が必要な人については、市町村長として判断していける例外措置も考えます。本当に入所されなければいけない人については、個別に相談したいと思います。
⑰ 要支援1、2については、来年4月から市町村の事業となる。介護保険事業の中で取り組んでいただいていたことが、市町村の中で格差が出てくるのではないかと思う。事業を発展させていただき、三次市が一番よい支援ができるようになればと思う。	これまでの介護保険でできた内容と市町村に移管された内容とが差があるようなことがあってはなりません。今の水準以下にならないように、努力し、可能な限り充実するように対応したいと思っています。